

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関有知高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年11月5日(火) 14:55~16:20
- 3 開催場所 関有知高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	横山 さつき	中部学院大学短期大学部社会福祉学科 教授
副会長	澤田 通直	下有知中学校 校長(欠席)
委員	山田 信之	関青年会議所 理事長
	松田 和彦	しもうちふれあいまちづくり協議会 総務部長
	武田 由美子	特別養護老人ホーム ハートフル 総務主任
	今井 典子	下有知保育園 主任保育士
	田原 晃成	せき・まちづくりNPO ぶうめらん 事務局
	古田 勇貴	関市役所市民協働課 事務員
	北村 清司	本校PTA 会長
学校側	廣江 修	校長
	山田 哲志	教頭
	小栗 啓成	事務長
	名和 憲一	教務主任
	片山 大輔	図書・情報管理主任
	吉田麻衣子	研修主事
	長尾 真由里	生徒指導主事
	瓜田 裕哉	特別活動係長(欠席)
	福山 美苗	保健主事
	辻 祥平	進路指導主事
	吉野 典子	生活デザイン科主任

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) スクール・ミッションの策定について

意見1: 不安定な時代だからこそ、本校でしか育めない言葉を入れるとよい。

意見2: テストの結果だけでは計れない学力観を盛り込めるとよい。

意見3: 地区で唯一の生活デザイン科が設置されているため、専門知識を学んでいる旨を入れることができるとよい。

意見4: 地域と学び直しがキーワードになってくるので、是非取り入れるとよい。

意見5: 生徒の心身の発達や、心身の健康を大切にできる学校であってほしい。

意見6: ミッション案を示してもらっているが、この会議で出された意見を集約し完成させてほしい。

⇒前回会議で出していたいただいた本校のキーワードからミッション案を作成したが、今回の会

議の意見を基に再考し、県へ報告するとともに第3回会議で承認を頂く。

(2) 学校評価アンケートの結果について

意見1：生徒を対象としたアンケートの回答数が60%と芳しくないがどのように考えているのか。

⇒今年度から質問数を削減して回答しやすい環境をつくり、保護者・生徒ともに三者懇談の待ち時間を利用して入力してもらっている。また、担任からも回答を促しているが、来年度に向けて更なる努力をしていく。

意見2：学校情報の発信はホームページやメールを通じて行っているが、若者の情報収集の手段であるSNSを利用してはどうか。

⇒他校の活用状況も調査して検討する。

(3) 関有知マルシェについて

意見1：市で企画するプロジェクトにも参加している生徒もいるが、地元の活動に目が向けられている証拠でありたいへんありがたい。

意見2：見学させてもらった。始まるまでは準備不足が心配されたものの、当日はその不安もまったく感じられず、参集者に対する生徒の接客態度や臨機応変な対応はすばらしかった。

意見3：2年前は2カ所で開催したが、今回のように1カ所開催のほうが生徒同士の動きもわかり一体感が創出される。

⇒次年度も継続できるよう検討する。

意見4：教職員は業務量が増えて大変だったと思う。生徒たちはお客様に喜んでもらうためにはどうしたら良いかを考えて活動できていた。

意見5：教職員の負担を考慮するのであれば、外部施設を利用するのではなく、学校を会場にして開催できれば負担が少なくなるのではないかと。

⇒検討していく。

意見6：予算的にも厳しいと聞いているが、クラウドファンディングは活用できないのか。

⇒県予算による事業のため、他からの補助金等活用は難しい。

意見7：外部での活動は教職員の負担もあったかと思うが、業務超過は多かったのか。

⇒主担当の教員は普段実施している授業準備や部活動指導に加え、外部との折衝で大変だったが、要領よく業務を行うことができ目立った時間超過はなかった。

6 会議のまとめ

- ・スクール・ミッションの策定について、本校の存在意義等を確認できた。
- ・生徒や保護者への効果的な情報発信方法が課題である。